

令和7年度 学校経営計画

I 学校教育目標

ともに育てよう みんな輝き 笑顔いっぱいの なばきっ子

(1) めざす学校像

- ◎児童・職員が毎日元気に登校できる学校
- ◎生き生きと自分らしく活動できる学校
- ◎笑顔で帰宅できる学校
- 安心・安全な学校
 - ・安全で生き生きと、安心して自分らしく活動できる環境の整った学校
 - ・元氣よく運動や遊びをする子どもたちがいっぱいの学校
 - ・美しい環境が守られている学校
 - ・協力・協働の姿勢に基づく意欲的な経営参加のできる学校
 - ・地域・保護者に信頼され、地域に根ざした学校
- 楽しい学校
 - ・わかる・できる・たのしいが実感できる学校
 - ・子ども理解を基にした、個に応じた指導・支援が展開される学校
 - ・教職員にとって「働きがいのある」学校
 - ・互いに切磋琢磨して教師としての資質向上を図り、職務が責任遂行できる学校
- ふるさとを愛する子どもを育てる学校
 - ・子どもたちが、地域の良さを体感できる学校

(2) めざす児童像

- | | |
|-------------|-------------------|
| ◎【か】かしこい子 | (よく考え、ともにのびる子ども) |
| ◎【が】がんばる子 | (たくましく、未来を拓く子ども) |
| ◎【や】やさしい子 | (思いやりがあり、助け合う子ども) |
| ◎【き】郷土を愛する子 | (ふるさとに誇りをもつ子ども) |

(3) めざす教師像

- ◎子どもを大切にする教師
- ◎授業を大切にする教師
- ◎チームワークを大切にする教師
- ◎保護者、地域との連携を大切にする教師

2 学校経営の方針

(1) 基本原則

- ・全ては「子どものためになるか」を基準に判断する。
- ・問題は「チーム南白亀」で対応する。

(2) 教育は人なり

- ・人間性を高め、自己を磨き上げる。
- ・チャレンジ、成長、貢献し続ける。

(3) 環境が人を育てる

- ・安心・安全(心理的・身体的)、美しく落ち着いた学校環境をつくる。
- ・互いに助け合い、認め合い、明るい雰囲気とチームワークのとれた職場環境をつくる。
- ・ふるさと白子の特色ある活動を行い、豊かな人間性と生きる力を育む。

(4) 地域に根ざした学校を目指す

- ・保護者や地域に愛され、信頼にこたえる学校をつくる。

3 経営の重点

(1) 豊かな人間性の育成

- ①学級経営の充実。学級活動を通じた望ましい集団づくり。
- ②「特別の教科 道徳」を中心とした道徳教育の充実。
- ③積極的に活動する児童の育成。(キャリア教育の視点)
- ④心を育てる環境づくりの推進。
- ⑤公共マナーの遵守と情報モラルの指導の徹底。
- ⑥潤いのある学校づくり。(学校行事の充実)

(2) 確かな学力の育成

- ①学習に臨む姿勢の改善。(望ましい学習習慣・学習規律)
- ②学習意欲の向上。(UDの考え方による授業づくり)
- ③言語活動の充実。('聞き方名人」「話し方名人」の指導の徹底)
- ④読む力の向上と表現力の育成。(読書に親しむ)
- ⑤授業改善。('『思考し、表現する力を高める』実践モデルプログラム」の活用)
- ⑥個に応じた指導・個をいかす指導の充実。(ICT機器の活用)
- ⑦課題解決の場の工夫。(協働)
- ⑧文化の多様性を受け入れる寛容な姿勢。(外国語活動、外国語科の指導の充実)
- ⑨家庭と連携した家庭学習の習慣化と充実。(家庭学習の手引きの活用)
- ⑩特色ある教育課程を編成。(各教科・領域、行事、地域を結ぶ)

(3) 生徒指導の充実

- ①友達関係や自分の居場所(心理的安全性)づくり。
- ②自己肯定感、自己有用感、他者受容感を高める活動の充実。
- ③全職員で協力して指導。
- ④いじめの未然防止・早期発見・早期対応。
- ⑤基本的な生活習慣の定着を図る。(ルールの意味を指導)
- ⑦あいさつ運動の推進。
- ⑧人権意識の向上、規範意識の醸成、命を大切にする心の育成。
- ⑨教育相談活動の充実。

(4) 健康・安全教育の充実

- ①生涯にわたって自ら健康づくりを進める基礎的な力を育成。
- ②学校全体で児童の体力向上に取り組む。(校庭の全面芝生化を生かした体育の授業開発や外遊びの励行)
- ③児童個々の心身の健康状態の把握と指導。(養護教諭との連携)
- ④給食指導の充実、食育の推進。(栄養教諭との連携)
- ⑤児童の健康課題の解決を図る。(学校医・地域の保健期間・地域住民等との連携)
- ⑥危険を予測し、回避する能力を高める指導。(じぶんの命はじぶんで守る)
- ⑦危機管理マニュアルにそった指導および対応の徹底。
- ⑧避難の仕方の徹底。(防災・避難訓練(地震・火災・津波・不審者)の活用)
- ⑨感染症予防対策の徹底。

(5) 教職員の指導力の向上と協働体制の確立

- ①授業力の向上。(授業研究と研修の充実)
- ②年間を見通した具体的な目標を設定と、自己評価。(目標申告シートの活用)
- ③報告・連絡・相談の徹底。情報の共有・課題の共通理解・協働の意欲・コミュニケーションの推進。
- ④自己の健康管理に努める。(ノー残業デーの活用)
- ⑤不祥事防止の徹底。(不祥事根絶研修会の活用)

(6) 「ふるさとに誇りをもつ子どもを育てる学校」づくりの推進

- ①地域の良さを体感できる取組の充実。
- ②地域の人材の積極的に活用。(ふるさと教育部会資料の活用)
- ③保護者との連携の強化。(読書&はあとチャレンジ)
- ④保護者との相互理解の意思疎通に生かす。来校の機会を多く設け
- ⑤各種たよりやHP等を活用した情報の発信内容の充実。
- ⑥学校・家庭・地域の架け橋をめざすPTA活動の推進。
- ⑦小保連携、小小連携、小中連携。
- ⑧地域との話し合い活動の充実。(地域懇談会や学校評価委員会の活用)